

サステナブル経営格付け評価を受けて

ニチレイグループは、外部機関による格付調査の結果を真摯に受け止め、今後の改善に役立てていきます。

II 所見

1. 総合評価

御社の経営は、評点獲得率が高く、かなりサステナビリティ経営の高い水準に達しているものと評価されます。御社の経営は環境やSRなどの課題に正面から向き合い、企業経営の改善に努められる結果が、こうした評価に繋がったものと解され、今後ともこれまでの経験を基に、より高いレベルのサステナブル経営を目指されることが、期待されます。

サステナブル経営への取り組みを分野別に見ると、経営分野での取り組みは極めて高く、概ねサステナブル経営上の要件は満たしているものと見られますが、環境分野については極めて優れた取り組みの側面もあるものの、全体として一層の努力を要するレベルにあると見られました。

また、この経営への取り組みは戦略、仕組の2つの段階では概ねサステナブル経営の域に達しているものと見られましたが、成果は今一歩のレベルと評価されます。経営の取り組みが成果を十分に生み出す段階にはもう少し時を要するものと解されます。

御社は、本学会の格付けに2回目から3年継続して参加頂いております。この格付けを外部評価の一つとして改革に結び付けたいという思いを強く持たれ、自己評価も真摯かつ正確に行っていることは大いに評価されます。現在実施されている施策についてはCSRの視点で再評価をされており、今後これらが戦略面に反映されれば、よりサステナブル経営に近づくと考えられます。

2. 優れている項目とその理由

昨年度に持ち株会社にして社外取締役を増やされ、会社とは関係が無い人物が取締役に就任しております。この結果、取締役は法曹、金融、国際的経営者、経営コンサル、経営学者などからなるユニークな構成となり、活発に意見が述べられていることは大いに評価されます。

内部統制を見ると、コーポレートとの関係の下で、分社化した企業では役員会レベルでの決定が可能になったと言えます。また監査役も大会社のため3名設けられるとともに、モニタリング組織である事業経営支援部を作り、事業担当と経理担当がペアになりモニタリングをする仕組みが整備されております。こうした対策によって、セルフガバナンスが有効になっているものと評価されます。

さらに、御社は外部評価を重視され、本学会の格付けはもとより、日経新聞社の調査や、顧客相談窓口、アナリストなどのさまざまな評価に耳を傾け、それにより明確にされた課題に積極的に取り組む姿勢があることも評価されます。

加えてコンプライアンスについては、従業員が家庭において会社での出来事を巡回し指導してまいります。基本的には性善説の立場に立つが、何か相談できる人を組織として持つことが重要であると考えて居られます。こうした姿勢と堅実な取り組みも大いに評価されます。

3. 改善を要する項目とその理由

御社は、自然保護の推進については、生物多様性への対応までは取り組みが広がっておりません。自然保護活動の一環として、えびの養殖、マングロープの植林などを行っております。

CSR調達についても、品質や環境配慮はされておりますが、人権問題への取り組みなどはまだであります。

御社にとって今後の課題は、業種から言って生物多様性の保全については重点的な取り組みが求められます。また、輸送に伴う環境負荷の削減、土壌・水質汚染の防止・解消、CSR調達の推進、および地域社会の共通財産の構築など、持続可能な社会の構築への貢献として不可欠な側面への、より積極的な取り組みが求められると考えます。

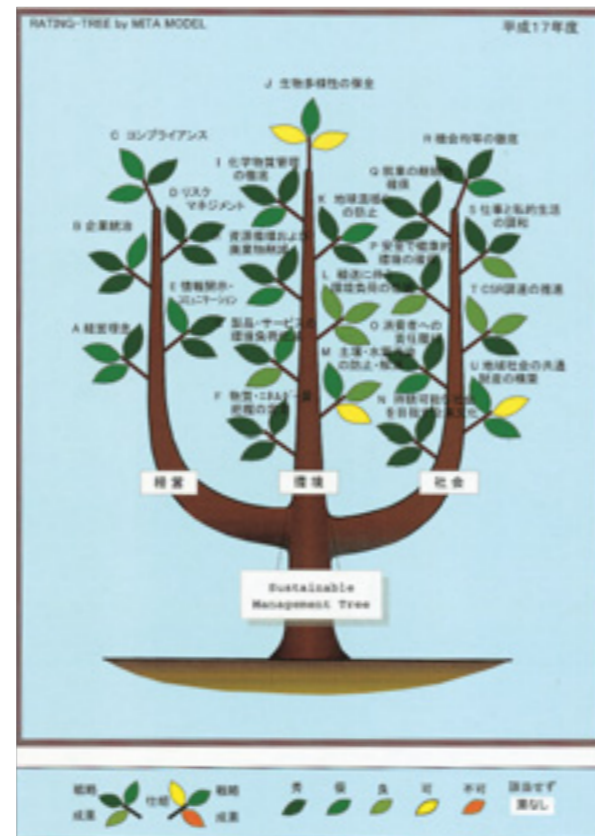
こうした中で御社は、ニチレイらしさを出すこと、ワークライフバランスなどについて別PJで推進しようとしておられますが、その成果が期待されます。

4. その他特記事項等

御社は、CSRIについては本年4月、対応する体制を整え始め、6つのキーワードを決めたとしております。企業は得意分野を通じて顧客価値を創造することが必要で、働き甲斐や社会とのつながりも重要との認識の下で、分社化を好機と捕らえ、コーポレート全体をCRS本部とし、社長自らが責任者に就任されたとのことです。こうした経営の変革を通じてガバナンスが更に徹底されることが期待されます。

また御社は、食を通じた社会貢献が主、と考えておられます。また、物流なども含め、「フレッシュ」が「ニチレイらしさ」であるとされています。こうした認識の下に、創業から60年が経過した今、チャレンジングに色々な改善・改革に取り組まれております。今後も地道な改善を継続し、持続可能な社会の構築に大いに貢献することが期待されます。

2006年5月18日
NPO法人 環境経営学会
環境経営格付機構 理事長 木俣信行



「サステナブル経営格付け」について
NPO法人「環境経営格付機構」による、企業の持続可能(サステナブル)な取り組みを総合的に評価する格付評価で、4回目となる2005年度は25社が参加しました。評価内容は「経営」「環境」「社会」の計21項目に対して、それぞれ戦略・仕組・成果の3つ視点で合計175設問から評価されます。評価結果は図のように、1本の木で表され、「経営」「環境」「社会」を示す3つの幹と葉の色で、企業の取り組みの状況を一覧することができます。

グループ会社一覧

国内	海外	
株式会社ニチレイ [持株会社] フラワー事業 不動産事業 (株)ニューハウジング 他3社 関連会社6社	Tengu Company, Inc.	
株式会社ニチレイフーズ [加工食品事業] (株)ニチレイフーズダイレクト 千葉畜産工業(株) (株)ニチレイ・アイス (株)中冷 (株)ニチレイメンテック 関連会社1社	Nichirei do Brasil Agricola Ltda. 山東日冷食品有限公司 Nichirei Europe S.A. Nichirei Foods U.S.A., Inc. Nichirei Australia Pty. Ltd. 日冷食品貿易(上海)有限公司 関連会社2社	
株式会社ニチレイフレッシュ [水産事業、畜産事業] (株)まるいち加工 日新水産(株) (株)ニチレイティーピーセンター 関連会社1社	Amazonas Industrias Alimenticias S.A. Nichirei Seafoods, Inc. Nichirei U.S.A., LLC	
株式会社ニチレイロジグループ本社 [低温物流事業] [物流ネットワーク事業] (株)ロジスティクス・ネットワーク (株)ロジスティクス・プランナー (株)ロジスティクス・オペレーション (株)ニチレイロジスタッフ関東 (株)ニチレイロジスタッフ関西 [地域保管事業] (株)ニチレイ・ロジスティクス北海道 (株)ニチレイ・ロジスティクス東北 (株)ニチレイ・ロジスティクス関東 (株)ニチレイ・ロジスティクス東海 (株)ニチレイ・ロジスティクス関西 (株)ニチレイ・ロジスティクス中国 (株)ニチレイ・ロジスティクス四国 (株)ニチレイ・ロジスティクス九州 (株)キョクレイ	三重中央市場冷蔵(株) (株)札幌ニチレイサービス (株)東北ニチレイサービス (株)東京ニチレイサービス (株)名古屋ニチレイサービス (株)大阪ニチレイサービス (株)広島ニチレイサービス (株)四国ニチレイサービス (株)福岡ニチレイサービス (株)鹿児島ニチレイサービス 下関漁港運輸(株) (株)キョクレイオペレーション 照栄サービス(株) 関連会社6社 [その他の事業] 東洋工機(株)	Nichirei Holding Holland B.V. Hiwa Rotterdam Port Cold Stores B.V. Eurofrigo B.V. Eurofrigo Venlo B.V. Thermottraffic Holland B.V. Thermottraffic GmbH Frigo Logistics Sp.Z O.O. Nichirei Finance Holland B.V. 上海鮮冷儲運有限公司
株式会社ニチレイバイオサイエンス [バイオサイエンス事業]		
株式会社ニチレイプロサーヴ [シェアードサービス事業]		